

**【理工学研究科】ディプロマ・ポリシーに示された「力」とアセスメントの方法・指標**

研究科専攻	課程	DPに示された「力」	アセスメントの方法・指標
理工学研究科	M	DP1：理学の方法論を基礎とした開発工程支援技術力	副専攻科目の成績評価、中間審査、修士論文等の審査、最終試験をとおして、理学の方法論を基礎とした開発工程支援技術力の測定・評価を行う。
		DP2：理学の方法論を基礎とした製品開発支援技術力	副専攻科目の成績評価、中間審査、修士論文等の審査、最終試験をとおして、理学の方法論を基礎とした製品開発支援技術力の測定・評価を行う。
	D	DP1：開発工程支援技術とその研究開発力	ソフトウェア工学専攻およびデータサイエンス専攻では、中間審査、博士論文の審査、最終試験をとおして、開発支援技術とその研究開発力の測定・評価を行う。機械電子制御工学専攻では、最終試験における質疑応答をとおして、開発工程支援技術とその研究開発力の測定・評価を行う。
		DP2：製品開発支援技術とその研究開発力	機械電子制御工学専攻では、中間審査、博士論文の審査、最終試験をとおして、開発工程支援技術とその研究開発力の測定・評価を行う。ソフトウェア工学専攻およびデータサイエンス専攻では、最終試験における質疑応答をとおして、製品開発支援技術とその研究開発力の測定・評価を行う。